

官民ファンドの運営に係るガイドラインによる検証報告（第16回）（案）のポイント

- 官民ファンドの運営に係るガイドライン（平成25年9月27日 官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議決定）に基づき、各官民ファンドにおける下記の項目について評価・検証を実施。
 - ①官民ファンドの活用状況
 - ②マイルストーン到来ファンド等のKPIの進捗状況
 - ③民間VCへのLP出資の状況
 - ④投資人材の育成・供給状況及び地域活性化に向けた取組
- 検証の結果、それぞれの取組について一定の進捗が認められたものの、KPIの目標値を達成できなかった官民ファンドも確認。
- 各官民ファンドは、その原資が国の資金であることに十分配慮しつつ、それぞれの政策目的や設立趣旨に鑑み、政府の基本方針や計画等にも留意しながら運営を行っていくことが求められる。

（参考）検証対象ファンド（下線のファンドが今回②の検証対象）

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. <u>産業革新投資機構（JIC）</u> 、INCJ（経産省） | 8. 耐震・環境不動産形成促進事業（RE-SEED）（国交省等） |
| 2. 中小企業基盤整備機構（中小機構）（経産省） | 9. <u>特定投資業務（日本政策投資銀行（DBJ））</u> （財務省） |
| 3. <u>地域経済活性化支援機構（REVIC）</u> （内閣府等） | 10. <u>海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）</u> （国交省） |
| 4. <u>農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）</u> （農水省） | 11. 科学技術振興機構（JST）（文科省） |
| 5. 民間資金等活用事業推進機構（PFI機構）（内閣府） | 12. 海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）（総務省） |
| 6. <u>官民イノベーションプログラム</u> （文科省） | 13. <u>地域脱炭素投資促進ファンド事業（グリーン機構）</u> （環境省） |
| 7. <u>海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）</u> （経産省） | 14. 脱炭素化支援機構（JICN）（環境省） |

① 官民ファンドの活用状況

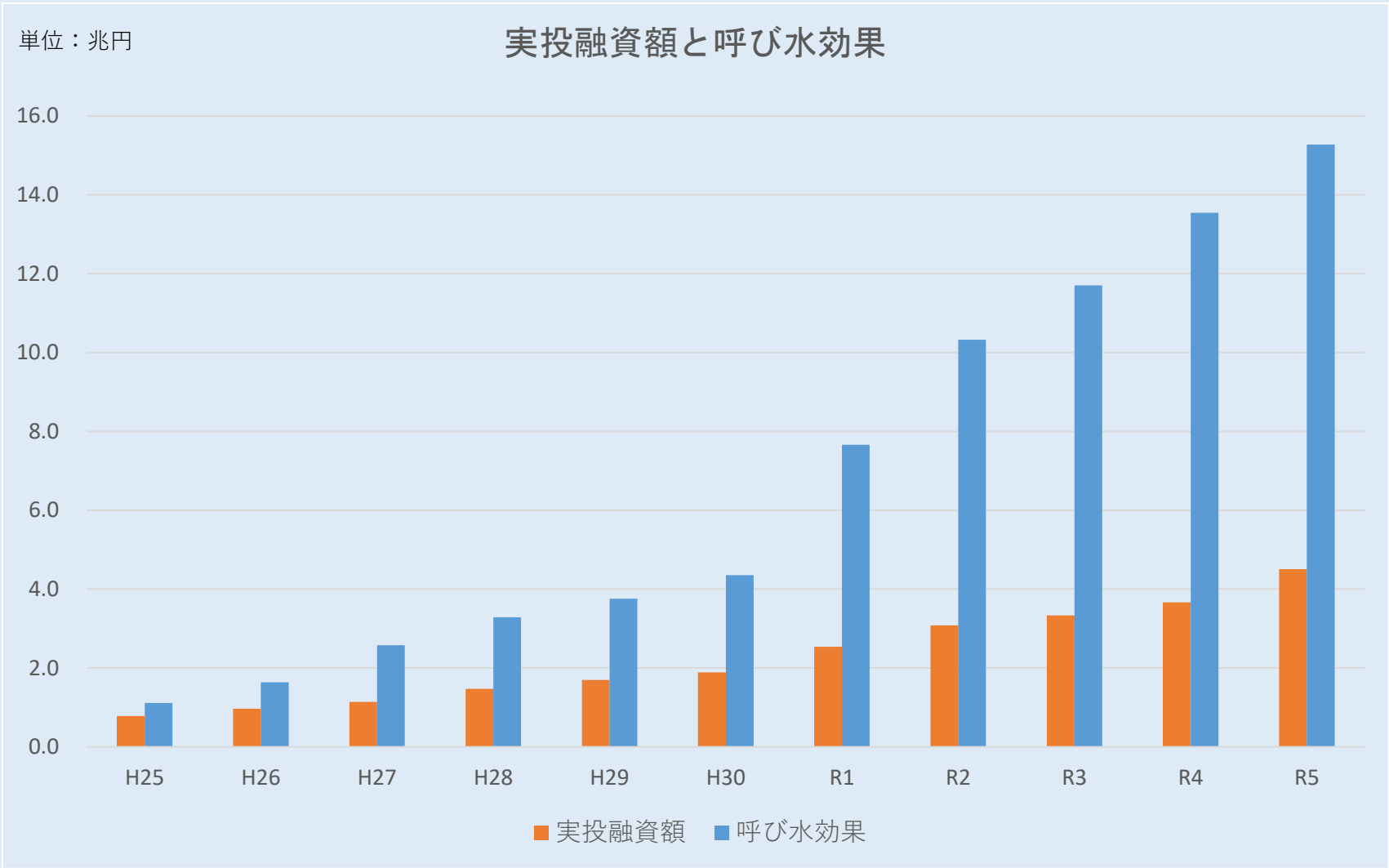
✓ 官民ファンドは、政府や民間からの出資等に加え、政府保証による調達や、これまで支援を行った事業者に係る株式の売却益等も活用することにより、受け入れた出資等の金額を上回る支援決定及び実投融資を実施。

✓ 官民ファンドの呼び水効果としての民間投融資額については、官民ファンドによる実投融資額を大きく上回っている。

	令和4年3月末（累計）	令和5年3月末（累計）	令和6年3月末（累計）	前年同期比
政府からの出資	1兆7,795億円	1兆9,445億円	2兆1,137億円	+ 1,692億円
民間からの出資	8,741億円	8,843億円	8,850億円	+ 7億円
（政府・民間合計）	<u>2兆6,536億円</u>	<u>2兆8,288億円</u>	<u>2兆9,987億円</u>	+ 1,699億円
政府保証限度額	5兆5,182億円	5兆5,284億円	5兆8,485億円	+ 3,201億円
支援決定額（件数）	<u>4兆3,035億円</u> <u>（1,457件）</u>	<u>5兆5,898億円</u> <u>（1,610件）</u>	<u>5兆9,067億円</u> <u>（1,761件）</u>	+ 3,169億円 （+ 151件）
実投融資額	<u>3兆3,357億円</u>	<u>3兆6,641億円</u>	<u>4兆5,027億円</u>	+ 8,386億円
呼び水効果	<u>11兆7,037億円</u>	<u>13兆5,431億円</u>	<u>15兆2,718億円</u>	+ 1兆7,287億円
累積損益	5,843億円	7,598億円	9,949億円	+ 2,351億円

【参考】これまでの累積額の推移（平成25年度末～）

✓ 直近で、実投融資額の3倍を超える呼び水効果を実現。



① 官民ファンドの活用状況（続き）

✓ 各官民ファンドについて、政府の主要な政策課題となっている以下 5 分野に関する取組について確認。

✓ 設置目的や足下の政策ニーズ等を踏まえつつ、着実に取組が進展している。

1. 科学技術・イノベーション（AI、量子、バイオ、医療分野、宇宙等）

⇒金融機関等の民間ファンド運営会社と共にGPの役割を担って組成した「地域活性化ファンド」を通じて、地域における医療・ヘルスケア分野の大学発スタートアップ等に対して投資し、資金供給と経営ノウハウの提供を実施。（REVIC）

2. デジタル・トランスフォーメーション（DX）

⇒AI、IoT、ロボットといった第四次産業革命に関する技術の社会実装等の国際競争力を持ちうる事業分野に対する、長期的かつ大規模なリスクマネーを供給。（JIC）

3. グリーン・トランスフォーメーション（GX）

⇒脱炭素社会の実現に向け、環境・エネルギー分野にて事業展開するベンチャー企業にも投資をするファンド等へ出資。（中小機構）

4. スタートアップ支援

⇒国立大学法人における医学、工学、薬学、情報科学などの多様な分野における研究成果に基づく新たな医薬品や治療方法、ロボット、宇宙利用プラットフォームの開発などに取り組む大学発スタートアップへのリスクマネー供給やハンズオン支援を実施。（官民イノベ）

5. 経済安全保障等

⇒重要物資の安定供給確保等のサプライチェーン強靱化やデジタル技術の活用による物流をはじめとするインフラの強靱化・高度化を推進することを目的に設置した「サプライチェーン強靱化・インフラ高度化ファンド」を活用。（特定投資業務（DBJ））

② マイルストーン到来ファンド等のKPIの進捗状況

- ✓ 令和6年3月期にマイルストーンが到来した7つのファンドに加え、損失を最小化するための改善計画を策定したファンド（A-FIVE）について、KPIの進捗状況を検証。
- ✓ KPIの目標値への達成状況は以下の通り。当該官民ファンドは、每期ごとに設定された目標値に可能な限り早期に到達できるよう、一層の効果的・効率的な運営に取り組んでいく必要がある。

	政策目的 ※1	エコシステム ※2	呼び水効果	累積損益（実績/目標） ※3
損失を最小化するための改善計画を策定したファンド				
1 農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE） ※4	-	-	-	未達→ 未達 （▲162/▲138）
令和6年3月期にマイルストーンが到来したファンド				
2 産業革新投資機構（JIC）	○	○	○	○（▲152/▲317）
3 地域経済活性化支援機構（REVIC） ※5	未達 → ○	未達 → 未達	未達 → ○ （一部のみ）	○ → ○（1489/1436）
4 官民イノベーションプログラム ※5	未達 → ○ （一部のみ）	○ → ○	○ → ○	未達 → 未達 （▲125/▲48）
5 海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構） ※6	○	○	○	○ → ○（▲398/▲407）
6 特定投資業務（日本政策投資銀行（DBJ））	未達 （一部のみ）	○	未達 （一部のみ）	未達 （553/974）
7 海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）	未達	未達	未達	未達 （▲955/▲166）
8 地域脱炭素投資促進ファンド事業 （グリーンファイナンス推進機構）	未達	○	○	○（▲17/▲17）

※1 各官民ファンドの固有の政策目的に合わせて、個別に目標を設定している。

※2 官民ファンドの事業活動による波及効果を測る観点から、「育成した投資人材数」ないし「民間企業との連携数」を目標として設定している。

※3 想定した累積損益額に対して、達成か未達かで評価している。

※4 改革工程表に基づき策定された「損失を最小化するための改善計画」に対して、累積損益が未達となったため、検証を実施したもの。
なお、前回、令和4年度末の進捗状況を検証しており、矢印の左側は、前回の検証結果となっている。

※5 前回、令和2年度末の進捗状況を検証しており、矢印の左側は、前回の検証結果となっている。

※6 前回、改革工程表に基づき策定された「最低限達成すべき投資計画」の進捗状況について、令和4年度末の累積損益の状況を検証しており、矢印の左側は、前回の検証結果となっている。

③ 民間VCへのLP出資の状況

- ✓ 官民ファンドによる民間VCへのLP出資実績 令和5年度末の累計額：**約6,059億円**（9ファンド）
（対前年度増加額：**約845億円**）

- ✓ 検証の結果、

- スタートアップ分野への支援強化等のために引き続きLP出資を活用する官民ファンド（JIC、中小機構、REVIC、CJ、DBJ、JICT）
- 若手キャピタリストの育成のためのファンドを新たに創設した官民ファンド（中小機構）
- 新たに民間VCに対するLP出資を開始した官民ファンド（JICN）

を確認。

- ✓ 各官民ファンドにおいては、政府方針等を踏まえつつ、各々の官民ファンドの目的・特性等に応じ、適切に民間VCへのLP出資について検討・取組を行うことが重要。

④ 投資人材の育成・供給状況及び地域活性化に向けた取組

- ✓ 一部の官民ファンドにおいて、地域金融機関からの人材受け入れを引き続き実施、官民ファンド全体として、**累計1,452人の投資人材を育成**（令和5年度末までの累計）。
- ✓ 官民ファンドによる東京都以外への資金供給実績
令和5年度：**約588億円、123件**（累計：約7,123億円、1,228件）
- ✓ 地域の金融機関、一般企業等を対象とした**複数の官民ファンド等による合同説明会を開催**。（令和5年度：2回開催）
- ✓ 官民ファンド相互間の運営効率化及び連携強化に向けた取組として、主にスタートアップ支援を行う政府系機関をまとめたプラットフォーム「Plus」への参画が進められた。